

11月7日

秋晴れの下で  
念願の演舞を披露

イベント



延期となっていた「前沢まつり」が前沢ふれあいセンターで開かれました。事前収録も含めて15団体が出演し、その様子がYouTubeで配信されました。今年の前沢25歳厄年連「翠耀蘭」と前沢42歳厄年連「蒼凰翔猿会」は、秋晴れの下で創作演舞を披露。はじける笑顔と踊りで、祭りを盛り上げていました。



11月20日

鈴木モトさん 100歳  
(水沢羽田町)

百寿



江刺藤里で6人きょうだいの長女として生まれ、21歳のとき次男さんと結婚。娘3人、孫3人、ひ孫6人、やしやご1人に恵まれています。日々酪農や稲作に精を出し、家族を支えたモトさん。この日は、百寿にちなんで施設職員が手作りの桃色の衣装に身を包み、笑顔で「楽しいね」と語りました。

11月21日

ストリートピアノが奏でる  
観客を魅了するメロディー

イベント



南股地区振興会は、同地区センター内で「農村のストリートピアノ南股ミニコンサート」を開催しました。このピアノは旧南股小学校で使用されていたもので、地域に縁のある調律師の協力を得てストリートピアノとして復活。当日は地元の子供や生徒ら16人が演奏し、来場者は華やかな音色に耳をすませていました。

11月14日

地元生産者による  
ぬくもりある手作りの品

イベント



NPO法人胆沢文化会館自主事業協会が主催する「いさわこしえ〜る市」が、胆沢文化創造センターで開催されました。胆沢地域の産直や市内外のハンドメイド作家、キッチンカーなど45団体が出店。会場には手作りのアクセサリや雑貨が並び、多くの家族連れが買い物を楽しんでいました。

11月21・23日

動画ライブ配信を通して  
市の魅力をPR

イベント



市公式チャンネル

市では、ふるさと納税寄付者や市民などを対象に「Oshu Xファン オンラインイベント」を開催しました。市として初となるオンラインのファンイベントで、市伝統産業会館や事業所から「YouTube」を通してライブ配信を実施。2日間で計4回開催し、市特産品である南部鉄器の魅力を市内外にPRしました。

We support the  
希望の  
ひかり  
第97回

国際リニアコロシアター（I-LC）  
計画の各種最新情報をお届けします

常盤小で出前授業を行いました

市では、地元の小中学生にI-LC計画への関心を高めてもらうため、感染症対策を取った上で「出前授業」を実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症により実施を見合わせましたが、9月16日に実施した第1回に続き、本年度第2回目を常盤小学校で開催しました。出前授業では、6年生の児童110人に市I-LC推進室職員が「I-LCについて」と題した授業を行いました。今回はI-LCの説明への導入として、宇宙に関する話や市が伝統的に天文学や科学を育む地域だという話を紹介



真剣に説明を聞く常盤小の児童たち



【市ホームページ】



【I-LC紹介動画】

またI-LCは、実現すれば地域の将来に大きな発展的変化をもたらすことができるテーマであり、地域としてどう受け入れるかが重要であること。そうした地域社会で個人がどう活躍していくかを考えるきっかけにして欲しいことを、出前授業で児童たちに伝えました。I-LCは、市や関係自治体・団体が力を合わせて実現しようとしている世界最先端の国際研究施設です。I-LC出前授業は、将来、社会の中心を担う児童・生徒に、I-LCについて学んでもらい、V科学に対する関心を高めること、I-LCが持つ地域への波及効果を考える機会にすること、▽将来の進路選択の視野拡大の一助にすること——を目的として開催しています。市では、今後もI-LC出前授業を積極的に実施していき、児童・生徒へのI-LCの認知・理解促進に努めていきます。また、自治会などを対象とした「I-LC講座」も行っていきます。興味のある団体はぜひI-LC推進室へお問い合わせください。



I-LCの知識を深めてもらいました



年の瀬も押し迫り、寒さが日ごとに増す今日この頃、いかがお過ごしですか。11月19日、大リーグエンゼルスの大谷翔平選手が、アメリカンリーグMVPに輝きました。投げては9勝、打っては46本塁打と、投打の二刀流で大活躍であった今シーズン。コロナ禍で国民、市民が沈みがちになる中、大谷選手の活躍や野球を心から楽しみプレーしている姿は、私たちに元気や勇気、感動を与えてくれました。MVP獲得おめでとうございます。そして、明るい話題を届けていただき、ありがとうございます。

13日、京都の清水寺で行われた阿弭流為・母禮之碑法要に出席しました。関西アテルイ・モレの会、関西奥州会など関係者約80人が参列し、郷土の英雄をしのぶとともに、

交流を深めました。今後も、清水寺の森貫主をはじめ、関係者の皆様とのご縁を大切にしていきたいと思います。7日、前沢まつりが開催されました。新型コロナウイルスの感染対策のため関係者のみの来場に限定され、映像配信での開催となりましたが、42歳厄年連「蒼凰翔猿会」、25歳厄年連「翠耀蘭」などが熱気あふれる演舞を披露してくれました。地域に元気を発信してくれた出演者の皆さん、関係者の皆さんに感謝いたします。8日、工藤建設㈱より、「いわぎんSDGs私募債」を活用し、胆沢ダム水源地域活性化協議会に対しヤマザクラの苗木を寄付いただきました。馬留広場に植樹した苗木がきれいに花を咲かせてくれることを願っています。10日、東北電力ネットワーク水沢電力センターとユアテック水沢営業所より、街路灯を寄贈いただきました。安心安全なまちづくりに役立ててまいります。ご協力に感謝いたします。

奥州市長 小沢昌記